

兵庫県立大学先端医工学研究センター 第18回学術交流講演会

The 18th AMEC Research Seminar

2019年4月16日 (火) 17:00 ~ 18:00 姫路ターミナルスクエア2階会議室

APRIL 16, 2019, 0500PM-0600PM@HIMEJI TERMINAL SQUARE BLDG. 2F SEMINAR ROOM

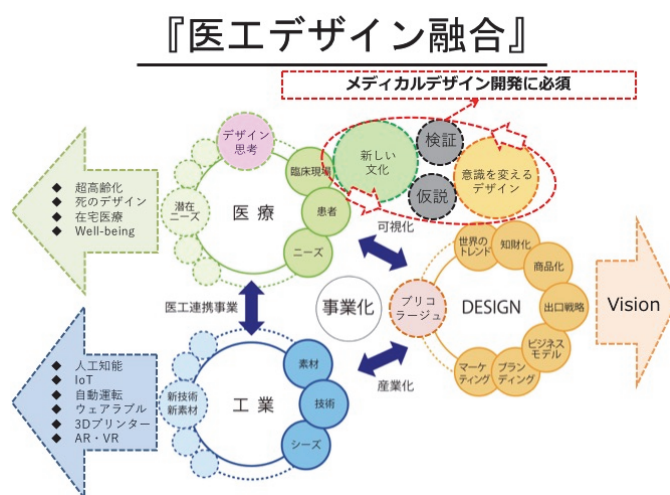
西垣 孝行 (にしがき たかゆき) 先生

森ノ宮医療大学 准教授

医工デザイン融合における事業化の3つのコツ

本講演では、「医工連携」の注意点を示しつつ、医工デザイン融合という新しいコンセプトについて解説します。特に、医療と産業の最適な共創における事業化ということで、下記の3つについて、可能な限り、簡単なワークを取り入れながら、皆さんの思い込みである「バイアス」を外してもらいたいと考えています。

- ① デザイン思考による医療現場の理解促進
共感—問題提起—解決策—テスト—改良を繰り返すことがデザイン思考ですが、最も重要なポイントが共感力で、普段からトレーニングが欠かせません。当日は自分の共感力をテストして頂きます。
 - ② ビジネスモデルキャンバスとバリュープロポジションキャンバスを用いたチームマネジメント
医療者と工学者および産業界の言語は、非常にかけ離れており、基本的には通訳者を必要とします。世界中で利用される2つのキャンバスを活用することで、陥りやすいトラブルを回避できます。簡単な事例を紹介しながら解説します。
 - ③ チームで腹落ちするビジョナリー
どのような原体験を基に、誰が、何故、どの程度、取り組み続けるのか、結局一番重要な資源は、「ヒト」だと考えています。新しい価値提案に結びつくワクワク感も必要です。
- 以上について情報提供しながら皆さんと議論できれば幸いです。



講師プロフィール



1999年4月臨床検査技師免許取得。2000年4月臨床工学技士免許取得。2000年4月、国立循環器病研究センターに入職後、人工心肺や補助人工心臓、透析、ペースメーカーなどの臨床業務に従事しながら、2012年に兵庫県立大学大学院で博士(応用情報科学)を取得。臨床業務と並行して、『医工デザイン融合』をコンセプトに現場の立場から医療機器開発に従事し、2015年感染予防用アイガード『Parashield』を商品化。日本臨床工学技士会の臨学産連携推進委員会委員、日本体外循環技術医学会の代議員、大阪府臨床工学技士会の理事を務める。2016年、経済産業省の『始動 Next Innovator 2016』にてシリコンバレー派遣組に選抜。2017年4月、経済産業省 医療・福祉機器産業室に入省。2018年4月から大阪府大阪市森ノ宮医療大学 臨床工学科准教授に就任、現在に至る。

主催：兵庫県立大学先端医工学研究センター

Language(言語)： Japanese(日本語)

講演会参加申込：不要 当日会場まで直接お越しください。

交流会：講演会の後、講師の先生を交えて交流会(会費4,000円予定)を開催いたします。交流会への参加を希望される場合、**4月12日(金)**までにセンター事務局へ(info@amec-hyogo.org)ご連絡ください。